

新市指定文化財について

- (1) 種 別 有形文化財 歴史資料
- (2) 名 称 よしざわさくらじま ひ き 吉澤桜島碑記
- (3) 所在地 鈴鹿市桜島町 1-11-12 (吉田神社境内)
- (4) 所有者 宗教法人 み ず か き 彌都加伎神社(代表者 遠藤 龍夫)
- (5) 年 代 文化 13 年 (1816 年) 頃
- (6) 品質及び形状等 石碑 (別途写真参照)
- (7) 寸法 高 約 172 cm 幅 約 117 cm
- (8) 作 者 撰 よしだ 吉田 じゅうれい 重麗, 書 いちかわ 市河 べいあん 米庵, 刻 ひろせ 広瀬 ぐんかく 群鶴
- (9) 調査者 衣斐 弘行 委員
- (10) 調査日 平成 28 年 1 月 13 日(水)13:30~15:30
- (11) 概 要

同碑記は、文化 13 (1816) 年、津藩主 とうどうたかさわ 藤堂高兌による農地開発の一環として、津藩郡奉行 よしだじゅうれい 吉田重麗が行った玉垣村の灌漑・開墾の経緯と様子を詳述した石碑である。

碑記の本文は、縦 27 文字、横 13 行 (内 11 字空) の計 340 文字がいんこく陰刻される。選者でもある よしだじゅうれい 吉田重麗は、漢学や儒学を津坂東陽に学び、藩主藤堂高兌の知遇を受け、藩政の改革に幾多の功績を残している。書は幕末の三筆の一人である いちかわべいあん 市河米庵、石刻は江戸後期に活躍した名工、ひろせぐんかく 広瀬群鶴である。

桜島の地名は、開墾によりため池を改修した折に、その池中の島に 200 株の桜を植樹し、その島を「桜島」と命名したことに由来し、その景観は文人らに愛されたといわれている。同碑は、桜島に建てられていたが、近代になって玉垣小学校内に移設、その後、昭和初期に桜島に戻されるが、昭和 50 年代後半の公園整備による池の埋め立てにより、現在地に移された。

同碑記は、本市における開墾史上、貴重な歴史資料として位置付けられる。



碑 全景



題字

「吉澤桜島碑記」について

名称 吉澤桜島碑記

所在 鈴鹿市桜島1丁目 吉田神社境内

種別 石碑

作者 文章：吉田重麗 書：市河米庵 鐫：広瀬群鶴

内容

「潘県の花蘇堤の柳其れ必ず為す有り 而して徒事風流に非ずと為すなり 我が北鄙玉垣村の西南町田と曰ふは水利甚だ艱し 十日雨降らざれば田輒亀坼 且つ村を去ること一里尤も僻隔たり 故に民情にして耕耨に力めず 土壤羸瘠 即ち早歳に非れば租を完うするに足らず 田凡そ三十余町 殆ど將に荒廢せんとす 余乏しきを司農に承け愍みて之を憂ふ 按じて其の地を視るに曰く陂塘有り 鞠して茂草を為す 此れ宜しく修澹して之を恢弘すべし 潦水を瀦蓄して以て興廢に足さんことを冀う 遂に建請を為し米五百包を賜う 郷司伊藤輔寿に命じ役民を督せしむ 勢を奮い日ならずして之を成す 周回三百六十歩 旧に比して五倍なり 其の鑿するところの土積一島を為す 水の中央に屹然たり 因りて命じて山桜二百株植えしめ号して桜島と曰う 加えるに山海の望有りて頗る景境を為す 橋を通じ磴を開き以て遊客を延く 又池を環りて蓮を種う 皆以て民の利を為すなり 是に於て民此に移らんことを請う者十有二戸 金資を賜いて費用に給し官林を割きて集落を為る 名づけて吉沢の里と曰う 水利を祝う也 夫れ【よう】麼斯の拳の潘県蘇堤の比に非ずと雖も其れ民を導きて楽しみ而して業を進ましむるは君子に庶幾からんか 其の徒事風流に非るを諒かにす 文化丁丑三月余を邀えて其の竣工を觀しむ 村長輔寿に因りて竊かに願わくは島に建碑せんと 国恩を奉戴し永世諉れず 敢えて請う片言を賜うを得ば幸甚に勝えずと 余其の志を嘉し記を為りて之に予う

津藩北郡司農吉田重麗撰 江戸河三亥書丹並題額 広群鶴鐫

玉垣村の西南にある町田という地は水利がわるく、田は荒廢していた。吉田重麗はこれを憂い、そこにあった「ため池」を浚渫して広げることが申請して米500俵を賜った。村長伊藤輔寿に命じ、工事をを行い、以前の5倍のため池が完成した。掘り起こした土を盛って島を作り、山桜200株を植え、桜島と名づけた。島に橋を架け、石畳を敷き、遊客を招いた。池の周りには蓮を植えた。やがて移住を希望する村民12戸が集落を作った。文化13年工事の竣工を見て、村長よりこの恩を忘れないように島に碑を建てたいといわれたので、それをうれしく思いこの文章を書いた。

補足

1 玉垣の灌漑・開墾

藤堂高兌による農地開発の一環として行われた。玉垣村の吉沢池は文化13年に郡奉行吉田重麗が中心となって水利灌漑が行われ、5倍に拡張、三十余町歩の水田が良田となった。

2 文章は吉田重麗 書は市河米庵 石刻は広瀬群鶴

市河米庵…江戸後期の書家・幕末の三筆のひとり

広瀬群鶴…江戸谷中の御碑銘彫刻師

3 吉田神社と碑の推移など

吉田神社の祭神は吉田重麗 明治期に弥都加伎神社に合祀 その後分祀

碑は桜島→玉垣小学校→桜島→吉田神社と移動

昭和57年 区画整理に伴い吉沢池は埋め立てられ、現在は公園の中に島のみ残る

4 ほかの指定文化財

坂出開墾碑（坂出市指定文化財 市河米庵書/広群鶴刻）

小笠原開拓碑・市河米庵墓（東京都指定文化財 広群鶴刻）

築井古城記碑（相模原市指定文化財 広群鶴刻）

鱒ヶ崎三本松古墳の碑（流山市指定文化財 市河米庵書）など

*市河米庵・広群鶴が関わった石碑は全国に多数あり，指定になっていないものも多い



碑 全景



題字